

文学で近代における論理を探究する概念型カリキュラム

-コンピテンシー育成のための複数テクストの効果的な組み合わせとループリックの活用-

【キーワード 文学、複数テクスト、論理、ループリック、自己評価、自己調整、AI】

背景

①概要

★高校国語は教材（コンテンツ）依存の傾向が強い。★特に文学を扱う科目では、何の作品を教えるかという点が全面に出る傾向がある。

高校2年生を対象とした文学国語において、複数のテクストを横断しながら近代という時代の思想や論理を多面的な視点から理解をする実践を年間を通して取り組んだ。生徒が自ら問い合わせたなどの探究的な場面を計画的に設け、感性・情緒・思想等を手がかりとしながら、文学を論理的に読み、文学における論理について協働的に理解を深める概念型カリキュラムの実践を行った。その結果、主体性コモンループリックを活用した生徒の自己評価や相互評価から生徒の変容や肯定的回答を多数確認できた。

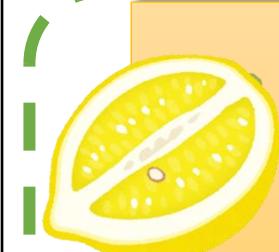
複数のテクストを効果的に組み合わせることで「コンピテンシー」を育成し、「コンテンツ」の特性を最大限に生かし、「コンテンツ」同士の相乗効果を最大限に生み出す工夫を紹介したうえで、AIの出現など変化が激しい社会において今後、新しい国語科に求められることについて考察した。

②実践事例

概念レンズ

★近代

★イデオロギー



I 五感を生かして小説を読解し、比較する

【複数テクストの観点】 小説・梶井基次郎『檸檬』
×詩・高村光太郎『レモン哀歌』×評論・加藤周一『文学の概念』

(1) 題名の分析

①表記：なぜ漢字か。②必然性：なぜ檸檬なのか。
→疑問をもたせる。全体の枠を意識させる。
後の活動につなげる。

(2) オノマトペの分析

①どのような状態を表すか。
a 辞書的な意味 b 本文の文脈
②どのような変化があるか。
→主人公の心情・状況と対応させて考える。
質の変化・量の変化などの型を意識させる。

(3) 場面設定・事実の把握

①何が書かれているか。
時（時代・時間など）、場所（地域など）、人物、年齢・属性・職業、経済状況、健康状態、心情、関係

②設定を「近代」という視点で捉え直す。

→時系列に変化をとらえるために、設定を丁寧に整理し、事実から読み取ることができることを分析させる。

(4) 対比・抽象・具体的の視点で分析

①「その頃」すなわち「すでに生活が蝕まれていた頃」と「以前」の対比と変化。
②具体的に挙げられているものを抽象化。
→グループワークの活動用に達成度が分かるようにループリックを用意（下記）。

	1回前の読解段階	その頃
●具体的なものを挙げてい る。	●「檸檬」を読み直す。 ●具体的なものの場面を総括するところを参考している。	●「檸檬」のものばかりである。 ●「檸檬」のものばかりである。 ●「檸檬」のものばかりである。 ●「檸檬」のものばかりである。
●「檸檬」のものばかりである。 ●「檸檬」のものばかりである。 ●「檸檬」のものばかりである。	●「檸檬」のものばかりである。 ●「檸檬」のものばかりである。 ●「檸檬」のものばかりである。	

【図3】ループリック (4)

(5) 比喩と象徴の説明・時代背景分析

①比喩（直喻・隠喻）と象徴の違いを

本文や具体例を通して理解。

②本文の背景について、歴史総合（日本史）と関連させて深化。

→教科を横断したカリキュラムマネジメントの観点を取り入れる。

設問要求を正確に捉えさせ、「分かりやすく説明」する問いと「簡潔に説明」する問いをバランス良く取り入れる。

(6) 五感を生かし、複数テクストで深める

①実物のレモン：五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）で、それぞれ感じた情報をワークシートへ書き込んでいく。

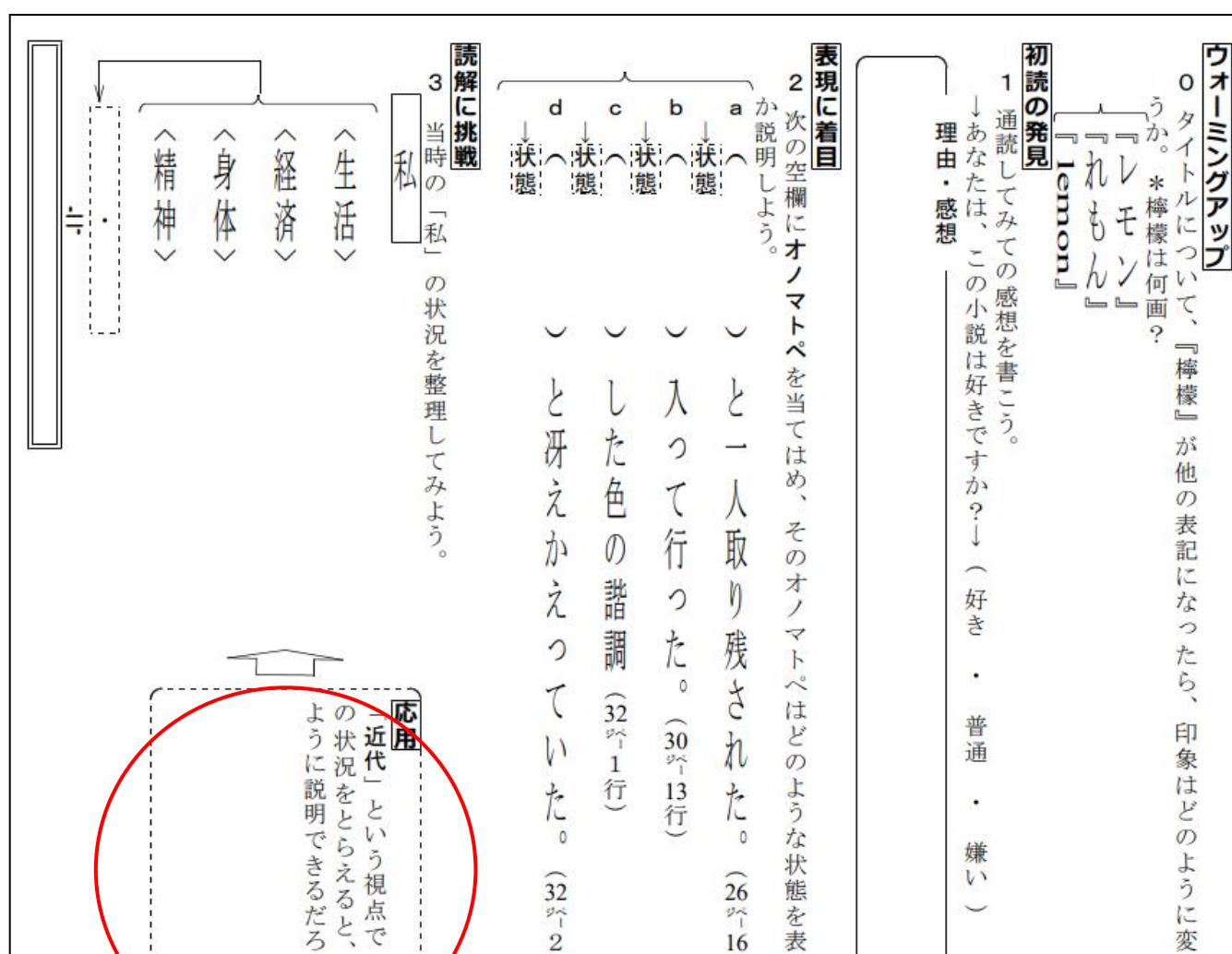
②梶井基次郎『檸檬』：本文に戻り、主人公がどの感覚が一番影響を与えたのか、心の安定につながったのかを考えていく。

③高村光太郎『レモン哀歌』：身体的な病、すなわち結核・肺せんカタルと精神的な病との共通点に着目し、文学のなかのレモンを考察する。

④加藤周一『文学の概念』：レモン体験が「文学的な経験」と「科学的な経験」が対比構造を用いて明確に説明されている部分を抜き出していく。この評論文を読むことで、梶井基次郎の檸檬体験が分類不可能な、一回限りの具体的な経験であり、「具体的で特殊な一回限りの経験」で、科学や論理が重視される近代・現代社会で文学に価値があるかを考えるきっかけになる。

(7) 創作活動 枠組みを与え、リライトをする。

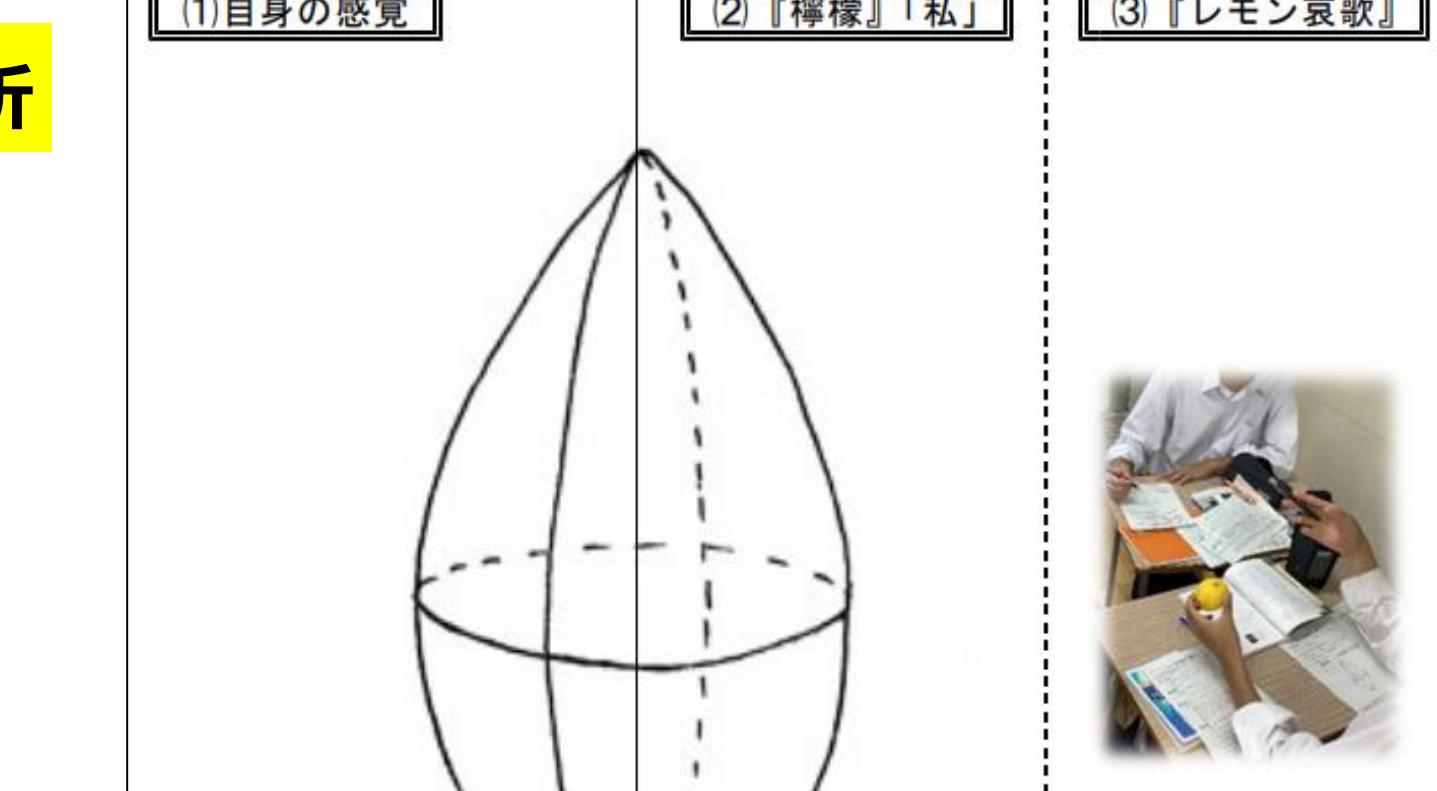
なぜ檸檬なのかを考えるきっかけを作る。



【図1】ワークシート (1)-(2)-(3)



【図2】ワークシート (4)・【図4】ワークシート (5)



【図5】ワークシート (6)

【学習目標】	『檸檬』の全体像をおさえ、さまざまなテクストと比較したうえで、多角的な読解を活かした独創性のある創作をおこない、表現力を養う。
【課題】	作品のタイトルが『檸檬』以外のものだったら、この小説はどのようになるか。 果物屋・八百屋で売られているであろうものからひとつ選び、『檸檬』にかかる描画を書き換えてみよう。ただし、主人公の設定は変えてはならない。そのものによると、「檸檬」は「果物」に変換するといふ。『檸檬』は「果物」に変換するといふ。
【構想】	(1) 選んだもの
	(2) 選んだ理由
(3) 書き換えを行う箇所	本文の表現 (ページ・行) ⇒ 変更後

【図6】ワークシート ((7))

【複数テクストの観点】 小説・安部公房『鞆』×小説・安部公房『棒』

(1) 単元のキーワード

①近代のどの部分を切り取って、虚構世界が構築されているか考える。
②近代という時代が、どのように表現されているか考える。
③作者の問題意識、作品のテーマを論理的に読み取り、表現する。

(2) 単元のキーポイント

①近代のどの部分を切り取って、虚構世界が構築されているか考える。

②近代という時代が、どのように表現されているか考える。

③作者の問題意識、作品のテーマを論理的に読み取り、表現する。

④近代のどの部分を切り取って、虚構世界が構築されているか考える。

⑤近代という時代が、どのように表現されているか考える。

⑥作者の問題意識、作品のテーマを論理的に読み取り、表現する。

⑦近代のどの部分を切り取って、虚構世界が構築されているか考える。

⑧近代という時代が、どのように表現されているか考える。

⑨作者の問題意識、作品のテーマを論理的に読み取り、表現する。

⑩近代のどの部分を切り取って、虚構世界が構築されているか考える。

⑪近代という時代が、どのように表現されているか考える。

⑫作者の問題意識、作品のテーマを論理的に読み取り、表現する。

⑬近代のどの部分を切り取って、虚構世界が構築されているか考える。

⑭近代という時代が、どのように表現されているか考える。

⑮作者の問題意識、作品のテーマを論理的に読み取り、表現する。

⑯近代のどの部分を切り取って、虚構世界が構築されているか考える。

⑰近代という時代が、どのように表現されているか考える。

⑱作者の問題意識、作品のテーマを論理的に読み取り、表現する。

⑲近代のどの部分を切り取って、虚構世界が構築されているか考える。

⑳近代という時代が、どのように表現されているか考える。

㉑作者の問題意識、作品のテーマを論理的に読み取り、表現する。

㉒近代のどの部分を切り取って、虚構世界が構築されているか考える。

㉓近代という時代が、どのように表現されているか考える。

㉔作者の問題意識、作品のテーマを論理的に読み取り、表現する。

㉕近代のどの部分を切り取って、虚構世界が構築されているか考える。

㉖近代という時代が、どのように表現されているか考える。

㉗作者の問題意識、作品のテーマを論理的に読み取り、表現する。

㉘近代のどの部分を切り取って、虚構世界が構築されているか考える。

㉙近代という時代が、どのように表現されているか考える。

㉚作者の問題意識、作品のテーマを論理的に読み取り、表現する。

㉛近代のどの部分を切り取って、虚構世界が構築されているか考える。

㉜近代という時代が、どのように表現されているか考える。

㉝作者の問題意識、作品のテーマを論理的に読み取り、表現する。

㉞近代のどの部分を切り取って、虚構世界が構築されているか考える。

㉟近代という時代が、どのように表現されているか考える。

㉟作者の問題意識、作品のテーマを論理的に読み取り、表現する。

㉟近代のどの部分を切り取って、虚構世界が構築されているか考える。

</div